

壊れたらすぐに捨てないで、修理などをして長く使いましょう。



・処理費用／約6億37万円

# 6億37万円

## ご存知ですか？ ごみの処理費用

市民の皆様1人ひとりが「ごみ問題」に関心を持つようにして、ごみの減量化に努めましょう！

### ごみの処理費用

市内のごみの量は、生活スタイルの多様化などに伴い増加傾向にあり、そのごみの処理費用も年々増加しています。平成24年度に市が支払ったごみの処理費用(燃えるごみ・燃えないごみ・資源ごみの収集および運搬・処理、粗大ごみ・不法投棄ごみの処理)は、約6億37万円で、市民一人当たりに換算すると約1万3,000円にも

なります。このままごみが増え続けると、処理費用もさらに大きくなっていくことが予想されます。

市民の皆様一人ひとりが「ごみ問題」に関心を持ち、身近なことからごみの減量を実践していくように心掛けてください。

■桜川市  
全体の1年間  
(平成24年度)  
ごみの量／約1万800t

生ごみは水分を切って出しましょう。水分を切るだけでも、ごみの重さが変わります。

■1人あたりの1年間(平成24年度)

・ごみの量／約234kg

・処理費用／約1万3,000円

### 見直そう！リサイクル

リサイクルできる新聞・雑誌・ダンボール・空力ペン・ビン・ペットボトルを、燃えるごみ・

燃えないごみで出しているませんか。

燃えるごみ・燃えないごみとして出すと、ごみ処理費が掛かります。しかし、資源ごみとして出せば、市がそれをリサイクル品として売却し、各行政区に報奨金として還元します。

このように、ごみの出し方で大きく経費が違い、併せてごみの減量化に繋がります。



### 3Rで、ごみの減量化

■Reuse(リユース)再使用

・カンやビンなどで、詰め替え式があるものは、詰め替えて使いましょ。

・壊れたらすぐに捨てないで、修理などをして長く使いましょ。

・欲しい人に譲りましょ。(フリーマーケットなどの活用)

■Recycle(リサイクル)再資源

・回収したごみを再利用しやすいうように処理をし、新しい商品の原材料として使いましょ。

・生ごみは、コンポストや生ごみ処理機などを上手に活用し、堆肥化して家庭菜園などに使いましょ。

■Reduce(リデュース)減量

・家庭や事業所から出されるごみを増やさないようにして、ごみを減らしましょ。

・買い物をする時は、マイバッグ(買い物袋など)を持ちなましょ。

・過剰包装は、断わりましょ。

・ペットボトルやカンなどのごみを減らすために、マイボトル(水筒)を持ちなましょ。

・生ごみは水分を切って出しましょ。水分を切るだけでも、ごみの重さが変わります。

ごみの処理費用を削減するためには、私たち一人ひとりがごみの減量化に取り組んでいかなければなりません。

日常生活のなかで、ちょっとひと工夫するだけでごみの量を減らすことが出来ます。ぜひチャレンジしてください。

■問合せ／環境対策課(☎58-5111・75-3111、内線2286)